



2025年2月号 (No.22)

多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>



～特別整理期間のお知らせ～

多気図書館

2月25日(火)～3月6日(木)

返却本はブックポストへお願いいたします。



さむ～い時期に仕込むお味噌。
美味しくな～れ
美味しくな～れ

『まんまるダイズみそづくり』

ミノカ・リウカ/作 福音館書店 (Eマ)

多気図書館

2月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会						1 おはなし会
2	3	4	5	6	7 おはなし おもちや	8 おはなし ほけっと
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21 赤ちゃん おはなし 会	22 おはなし ほけっと
23	24	25	26	27	28	

勢和図書館

2月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会						1
2 特別整理期間	3	4	5	6	7	8 おはなし会
9 ほんと カフェ	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19 おはなし会 (0～3歳)	20	21	22 おはなし会 もらってわ!
23	24	25	26 音読講座	27	28	

ブックスタート(おひさま) 2/21(金) 10:00～

～イベント紹介～

・ほんとカフェ&ピアノコンサート

と き: 2月9日(日) 13:00～16:00

コンサート 14:00～

コラボ: BOOKAさん、オーロココーヒーさん

ピアノ: 中原姉弟(ピアノ連弾)

※詳しくはチラシをご覧ください

・除籍本市「除籍本もらってフェア」

と き: 2月22日(土) 10:00～18:00

・音読講座～健康寿命、延ばします～

と き: 2月26日(水) 10:00～11:30

(要申込 2/7日(金)～)

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

か「seiwai」で検索



～コーナー紹介～

・篇屋重三郎が見いだした才能たち

篇屋重三郎が見つけ出した才能の数々。

彼らの作品や生き様を紹介。

・ぽかぽか温まる

食べもので。運動で。
身体ぽかぽか。

温かなこたつでの
過ごし方の参考に



『あたらしみかんのむきかた』
岡田好弘/作 小学館 (7984)

2月のおすすめ本



『住まなくなっても守りたい』 浅原昭生: 著 秋田文化出版 (291ア)

人口減が加速し、やがて無住になっていく限界集落。本書でいう「廃村」とは、行政単位の村ではなく集落(ムラ)を意味する。元住民の声を聞き取り、記録することにより浮かびあがる「住まなくなっても守りたいもの」とは。

『気候変動と子どもたち』 丸山啓史: 著 かもがわ出版 (519マ)

2024年の平均気温、水準より1.6度上昇!!世界で問題となっている気候変動。残念ながら日本はこの問題への取り組みに消極的...

私たちがこの問題に本格的に取り組もうと思うと、ここまでしなければいけないのか!

それは私たち大人が利益や便利さを求め、好き勝手にしてきたせい。

これから生きる子どもたちにそんな世界を残していいのだろうか...



『おてらおやつクラブ物語』 井出留美: 著 旬報社 (611.34)

“おてらおやつクラブ”。ご存知ですか?お寺に「おそなえ」された食べものを仏さまからの「おさがり」として様々な支援団体やひとり親家庭に「おすそわけ」する。そんな活動をしているお寺のご住職さんたちがいるのです。その数なんと!全国にあるお寺のうち、2058!一人のお坊さんから始まった活動が全国に!

なぜお坊さんがおやつを配っているの?

『今夜も焚き火をみつめながら』 服部文祥: 著 新井文祥・ブライ (786.1ハ)

1996年にカラコルム・K2登頂、時には愛犬のナツもつれ、自給自足を旨とし山野を歩く「サバイバル登山家」として知られる服部さん。『息子と狩猟に』などの作品がある作家でもあります。ユーモアあふれる文章と鋭い考察が魅力的な、どこから読んでもおもしろいエッセイ集です!



『夜更けより静かな場所』 岩井圭也: 著 幻冬舎 (F913.64)

古書店「深海」で開かれる深夜0時からの読書会。そこに集まる6人の男女。

各々が持ち寄る一冊の本“課題図書”を通し、それぞれが胸中に向き合い一歩を踏み出す。そして、最後。店主の“課題図書”から、みんなは何を感じるのか...



『森田繁子と腹八分』 河崎秋子: 著 徳間書店 (F913.6カ)

獣害対策・後継者問題など、日本の農業の諸問題がテーマとなっている物語。そんな問題に立ち向かうのは、派手な服装に濃い化粧、身体は縦にも横にも大きい、農業コンサルタント森田繁子。彼女が目指すは、0か10ではなく、自然と農業・人と人のちょうどいいところを見つける、譲り合いの腹八分。

登場するごはんがどれもおいしそう。大いに食べて、腹割って話そう!

